

加賀市・山中町介護保険事業計画策定委員会
第2回会議

資料2

「日常生活圏域」の設定について

平成17年3月25日

加賀市・山中町

日常生活圏域の設定（案）

日常生活圏域とは

第3期市町村介護保険事業計画においては、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるように、市町村内を日常生活の圏域に分け、その圏域ごとに地域密着型サービス量を見込む。

生活圏域の設定については、以下の事項を総合的に勘案し、保険者ごとに定める。

地理的条件

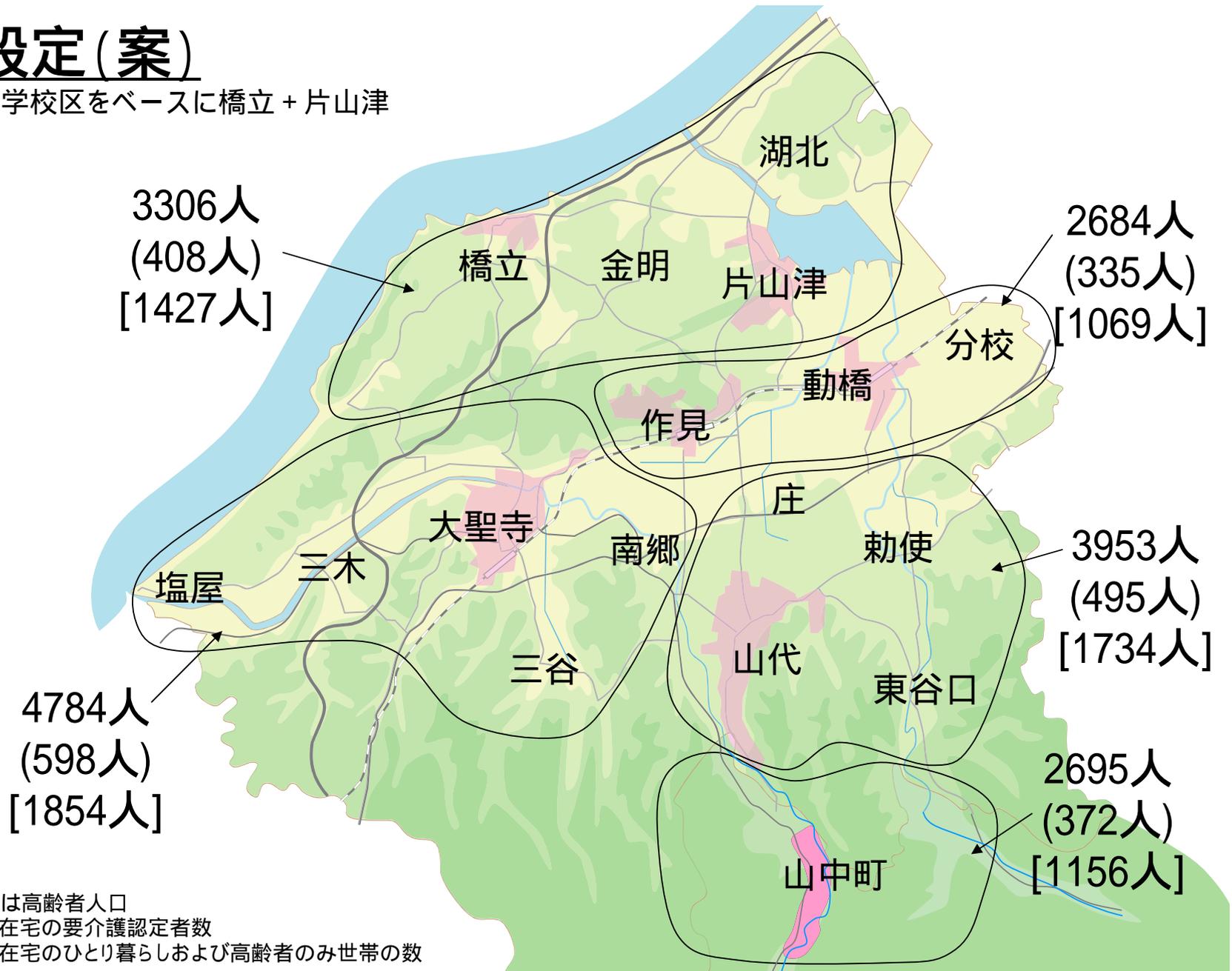
人口

交通事情その他社会的条件

介護給付対象サービスの整備状況 等

設定(案)

中学校区をベースに橋立 + 片山津



人数は高齢者人口

()は在宅の要介護認定者数

[]は在宅のひとり暮らしおよび高齢者のみ世帯の数

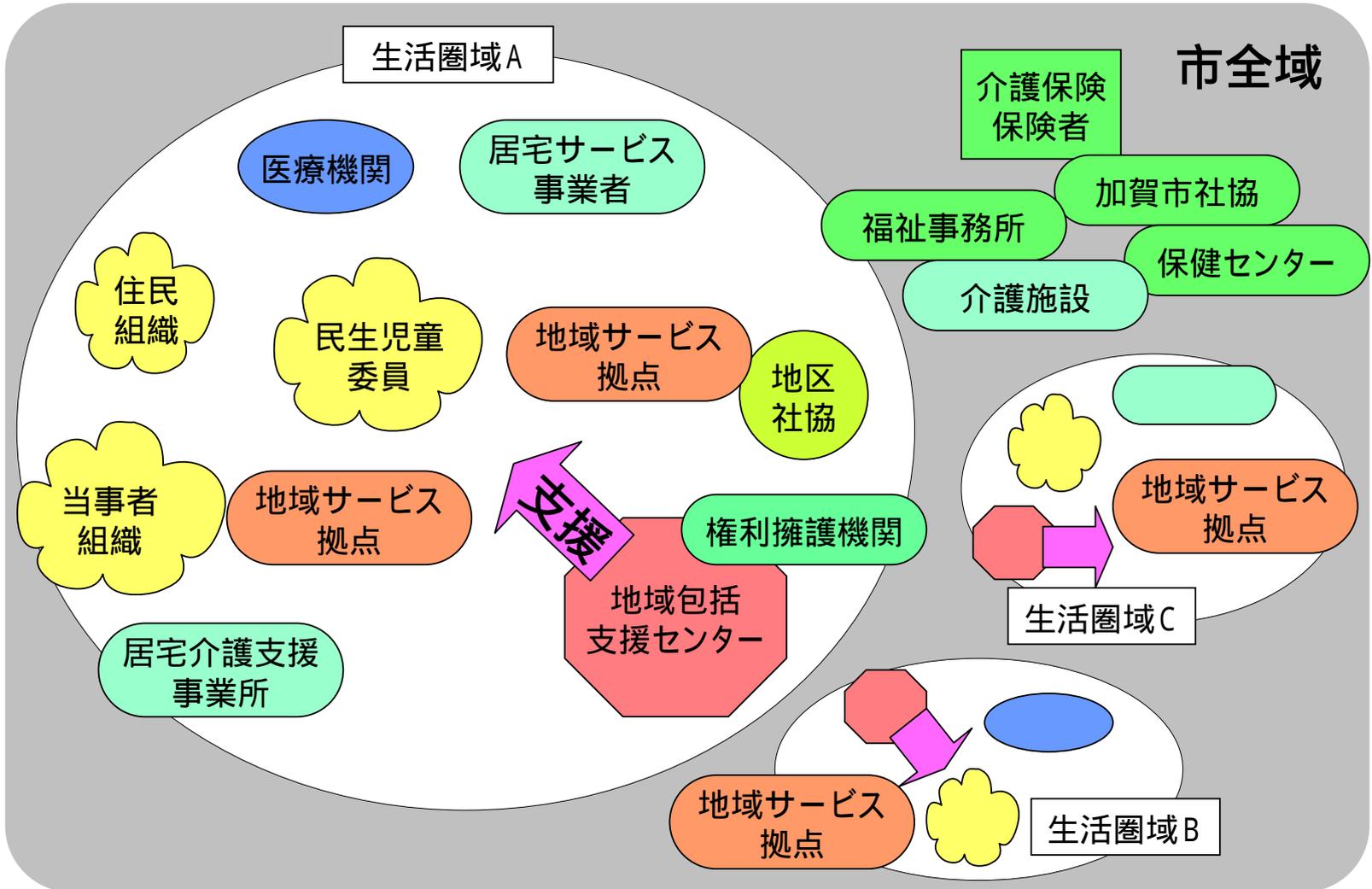
日常生活圏域の設定(案)について

- まちづくり推進協議会16地区単位で設定。
(地区を町単位で分割しない)
- 中学校区をベースとして地区あたり高齢者数を考慮して設定。
- 地区民生児童委員協議会との連携を考慮して設定。

生活圏域の設定による サービス利用について

- ・生活圏域の設定は、住民の介護サービス利用を圏域内に縛るものではない。
- ・生活圏域は、各圏域ごとに必要な地域密着型サービスを整備するために設定するものであり、自己の圏域外のサービスであっても、住民の選択により利用できる。

生活圏域の概念

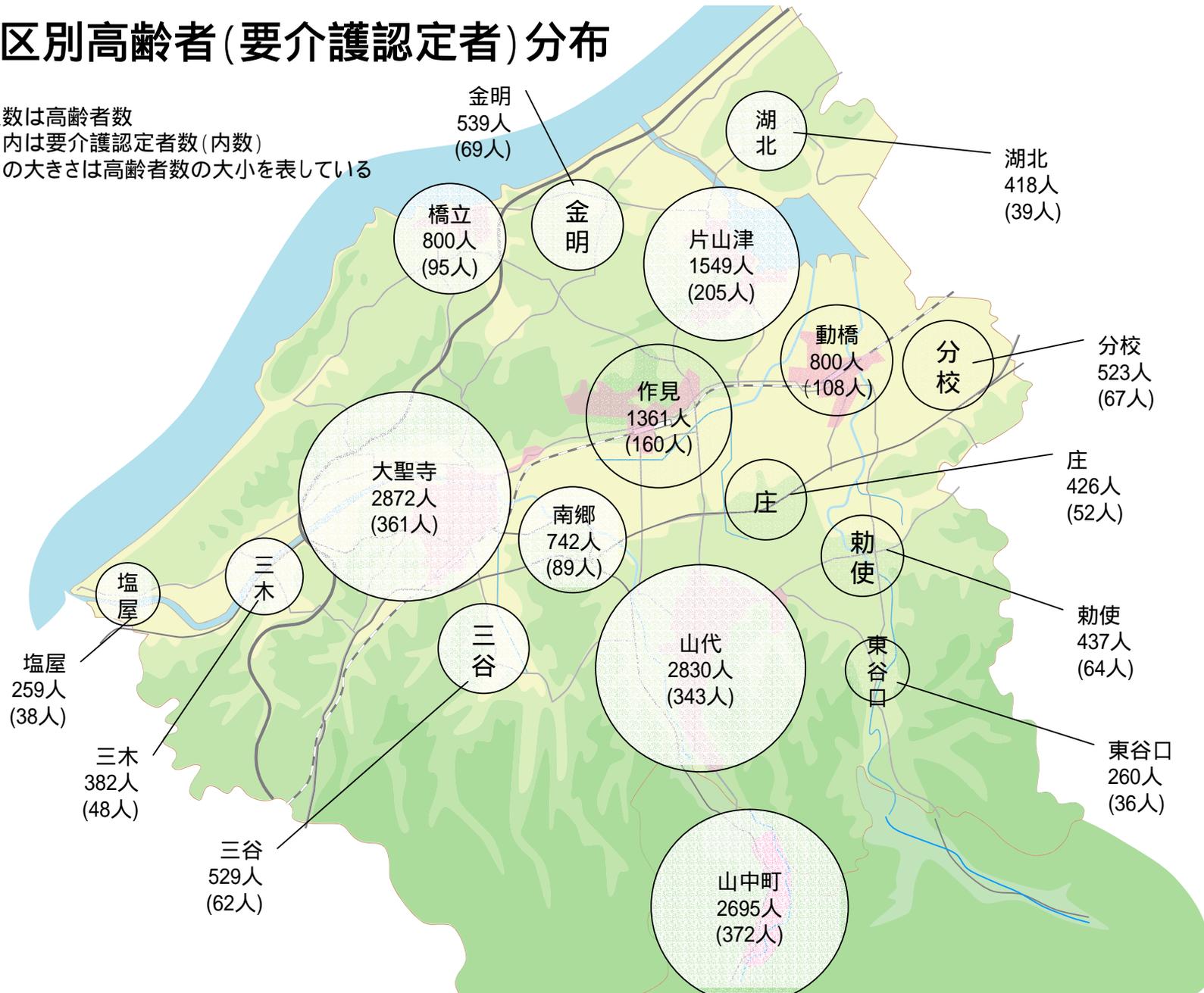


地区別高齢者(要介護認定者)分布

人数は高齢者数

()内は要介護認定者数(内数)

円の大きさは高齢者数の大小を表している

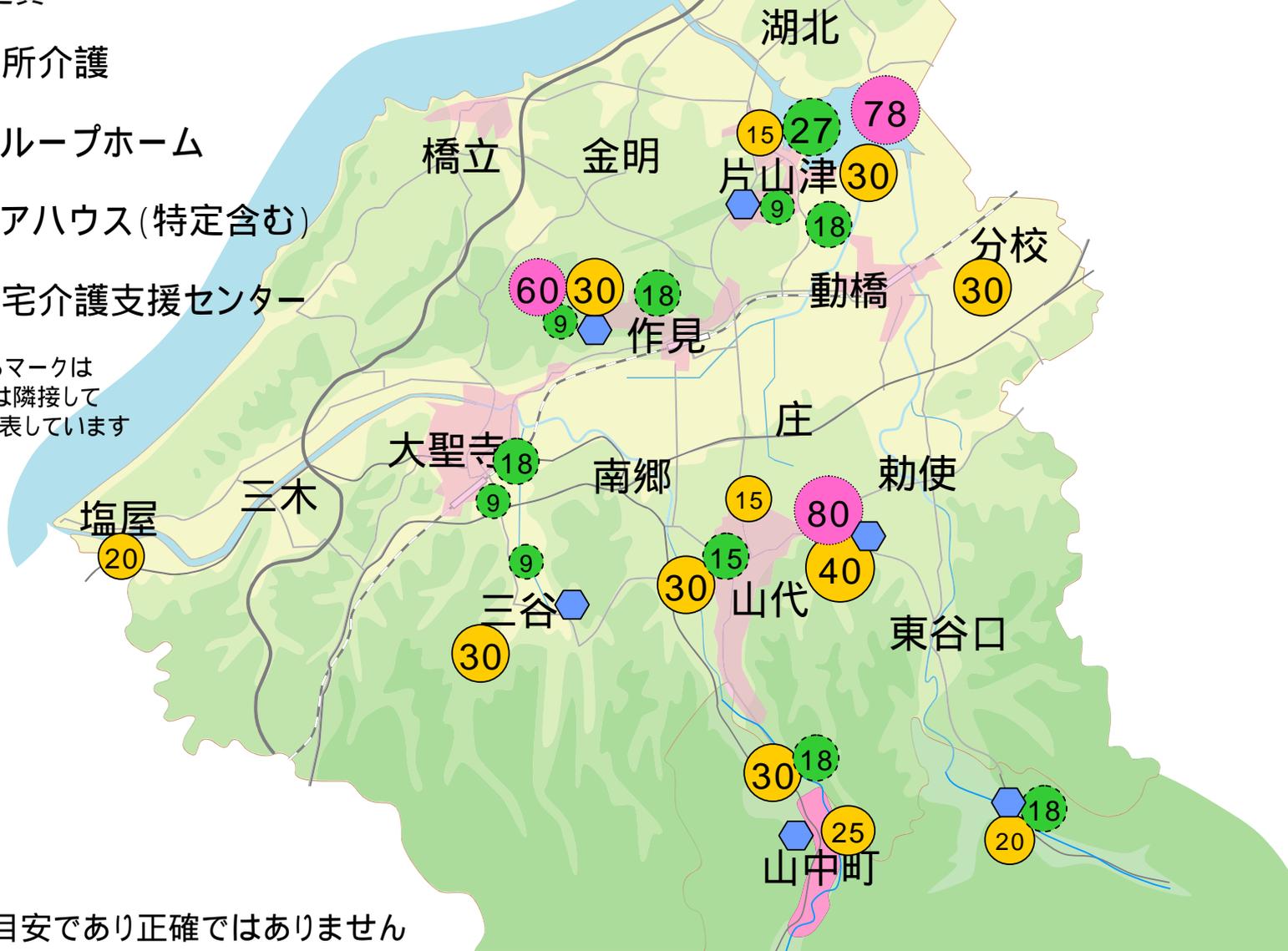


サービス分布(地域密着型サービスと類似したもの)

数字は定員

- 15 通所介護
- 9 グループホーム
- 80 ケアハウス(特定含む)
- 在宅介護支援センター

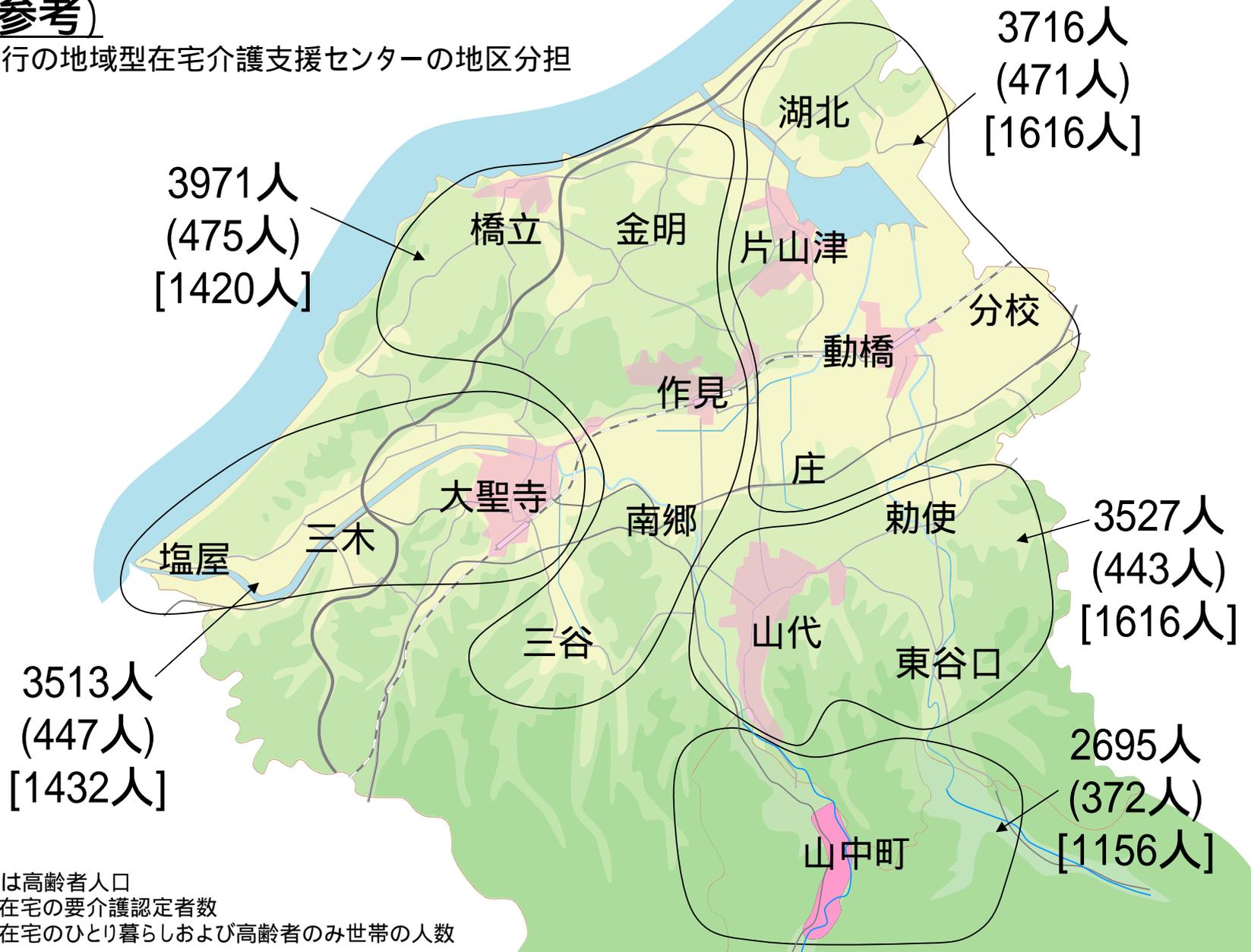
接しているマークは
併設または隣接して
いることを表しています



位置は目安であり正確ではありません

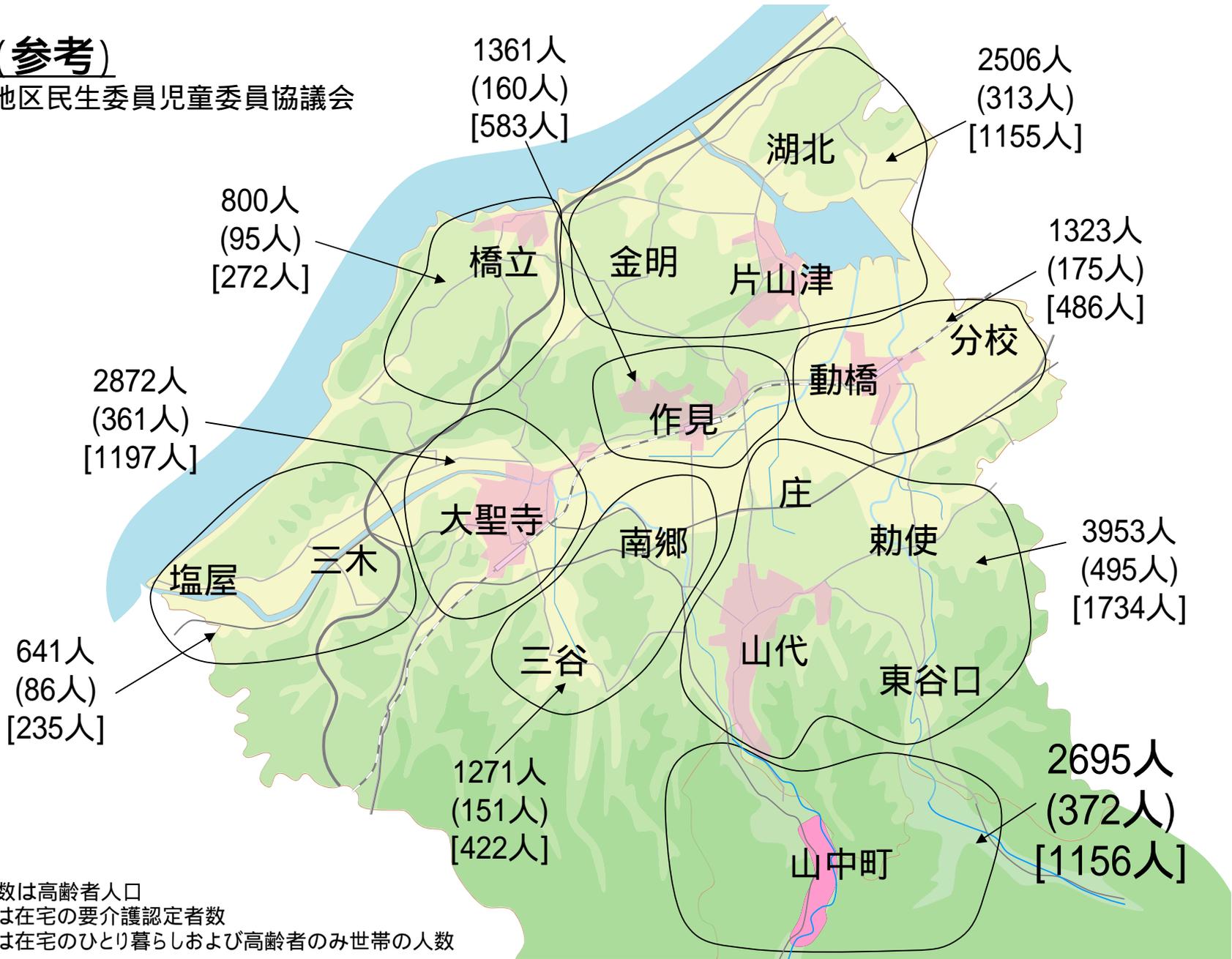
(参考)

現行の地域型在宅介護支援センターの地区分担



(参考)

地区民生委員児童委員協議会



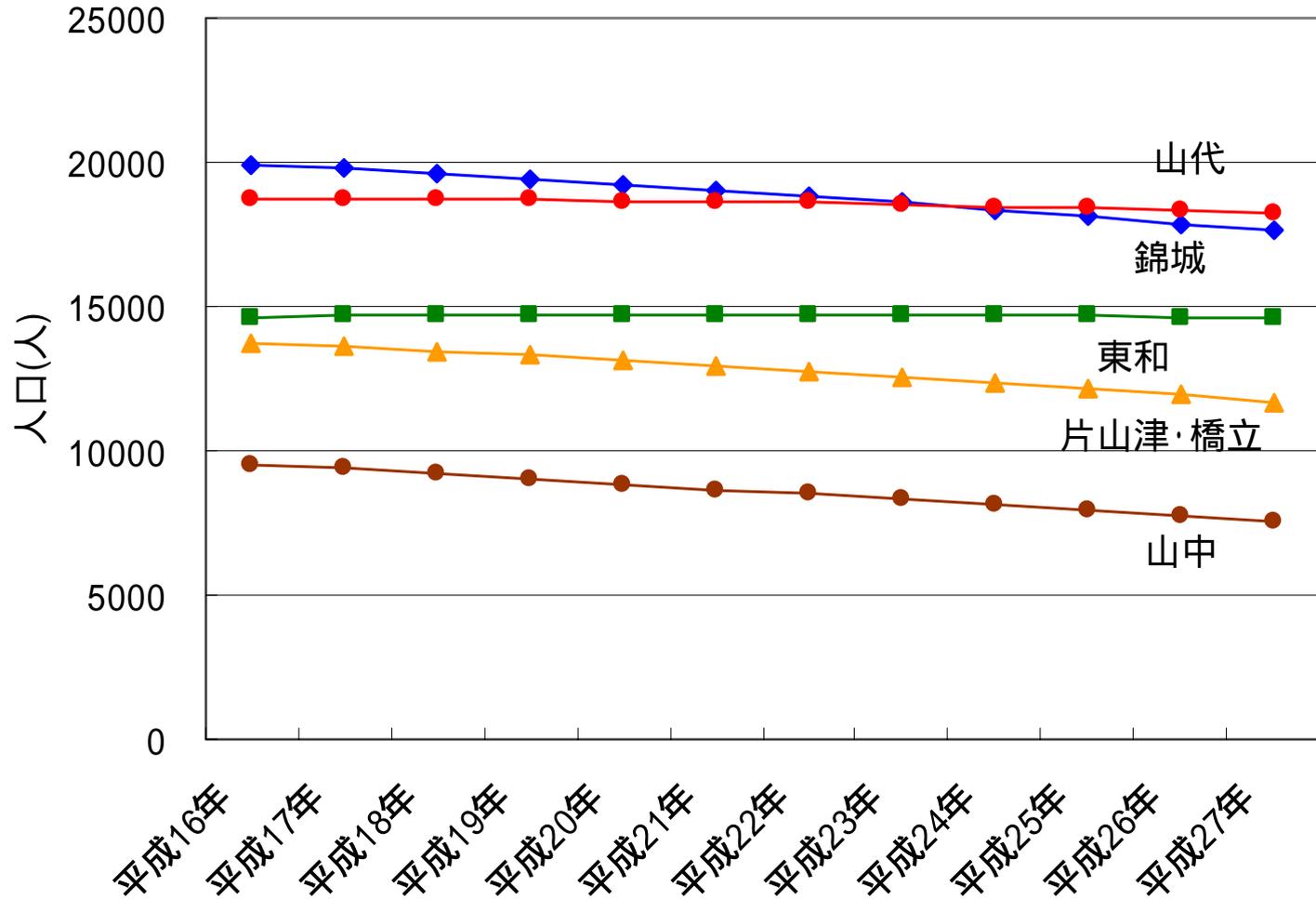
人数は高齢者人口

()は在宅の要介護認定者数

[]は在宅のひとり暮らしおよび高齢者のみ世帯の人数

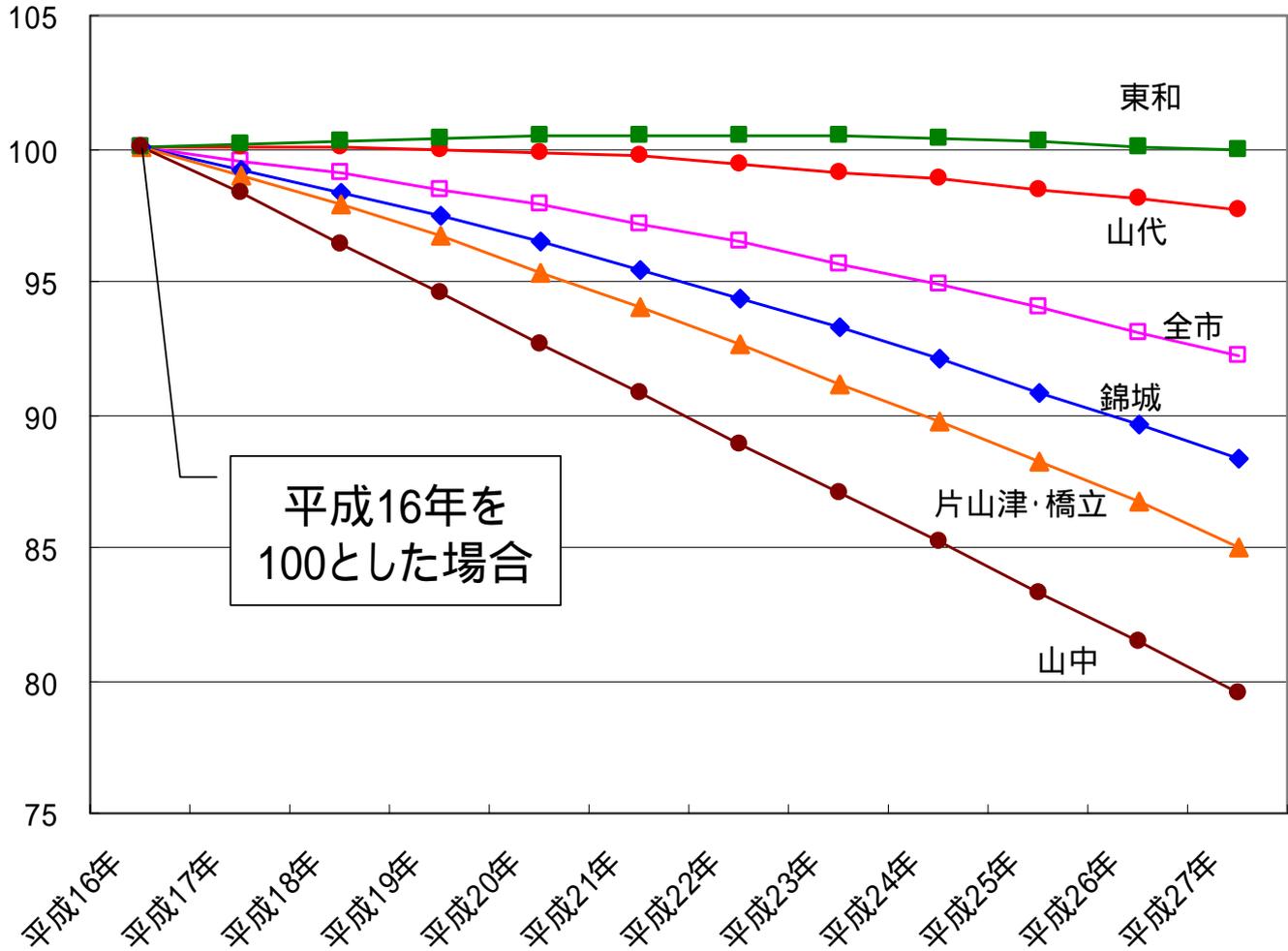
生活圏域別人口推移

東和と山代は横ばい その他は減少傾向



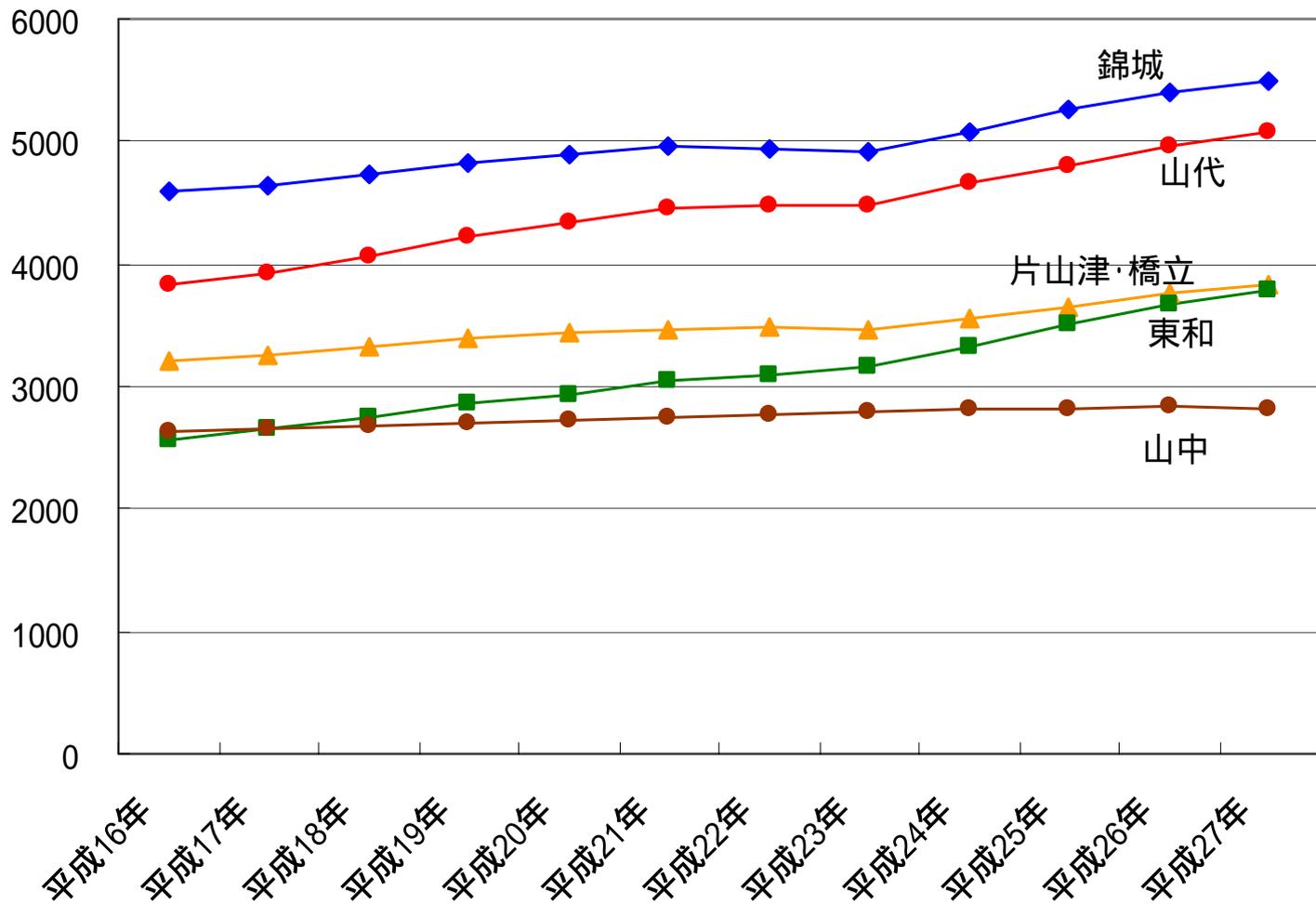
生活圏域別人口推移(相対変化)

山中と片山津・橋立と錦城の減少顕著



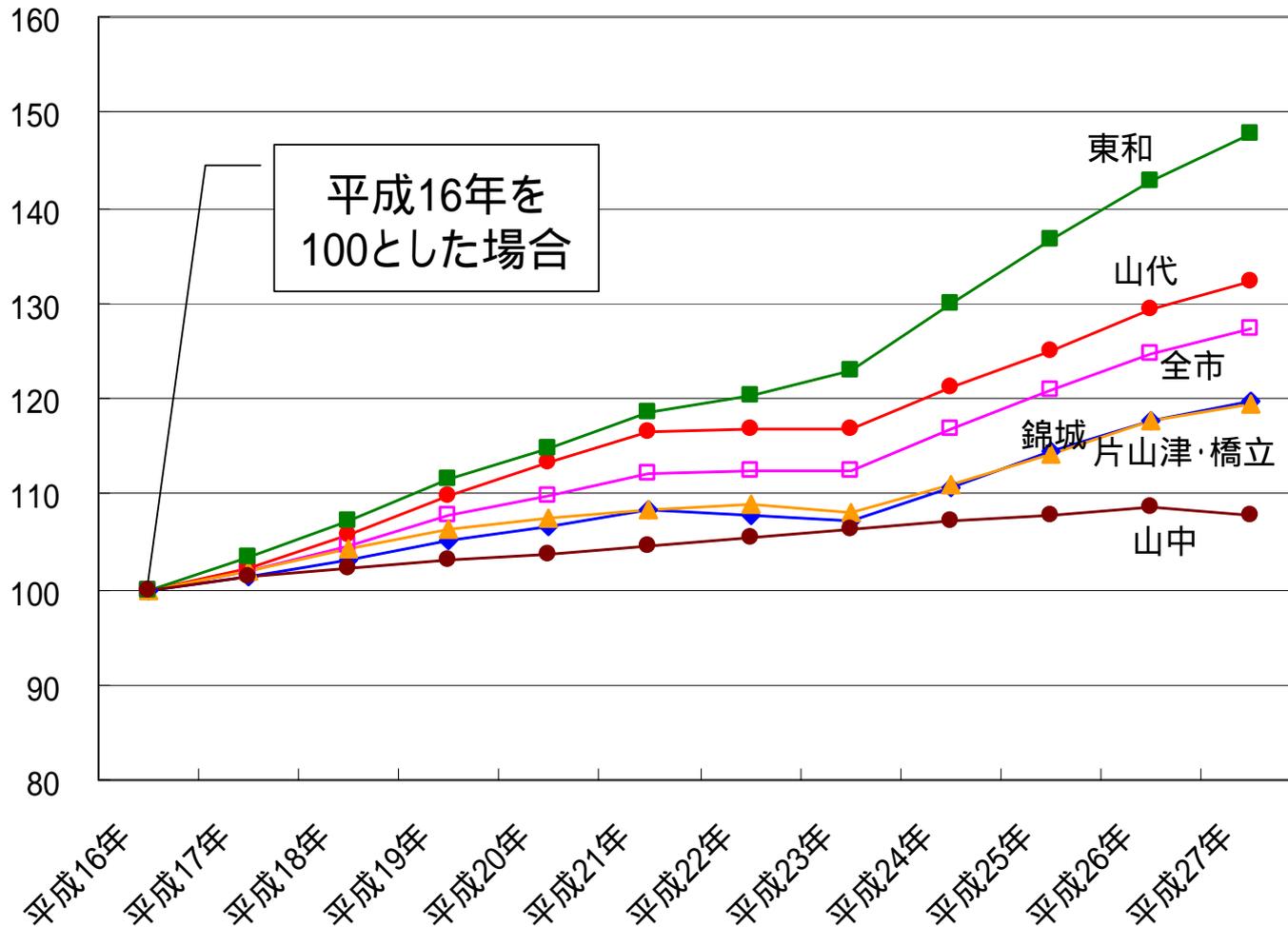
生活圏域別高齢者数の推移

山中と片山津・橋立と錦城の減少顕著



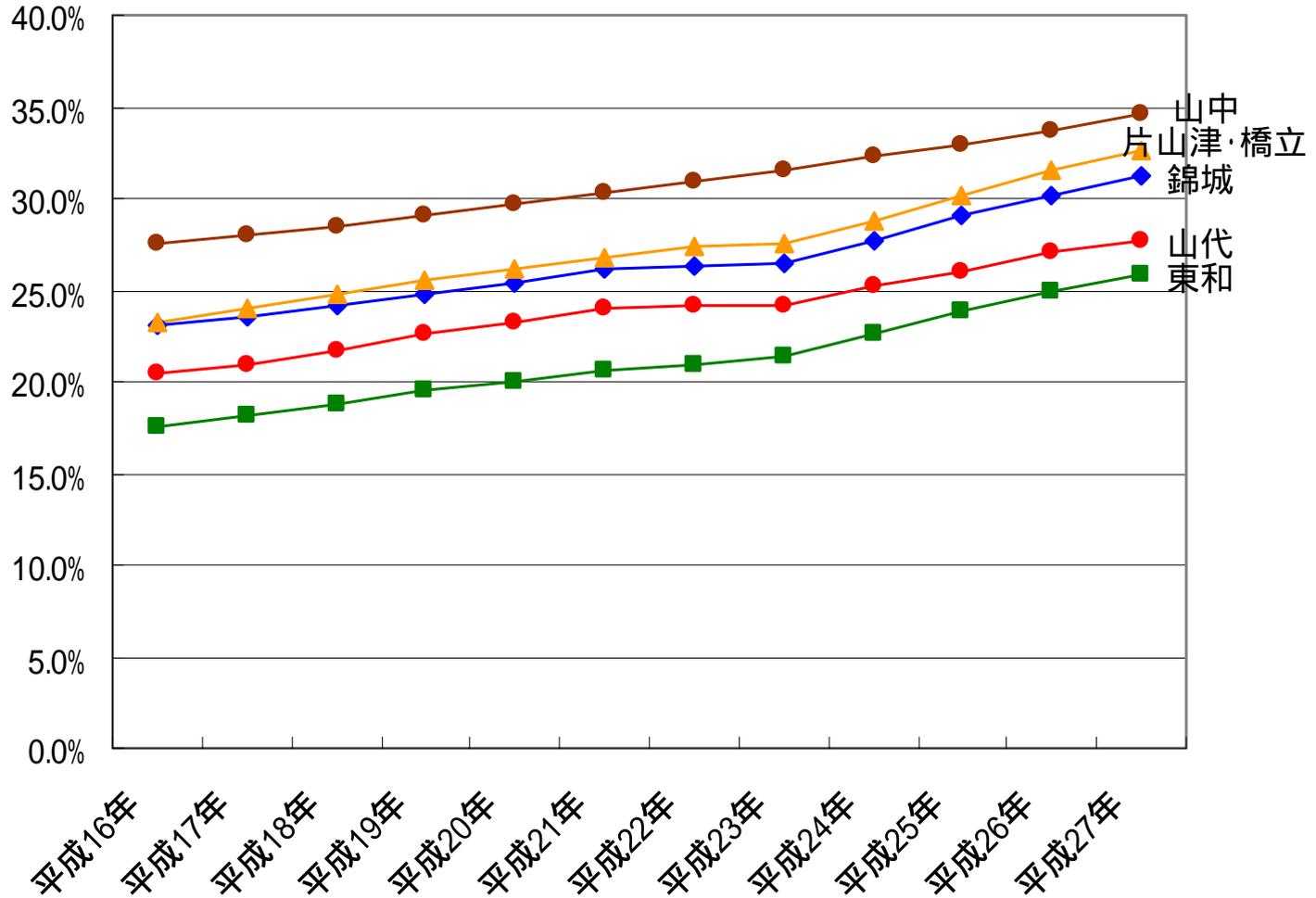
生活圏域別高齢者数の推移(相対変化)

東和の伸び顕著 山中は伸び少ない



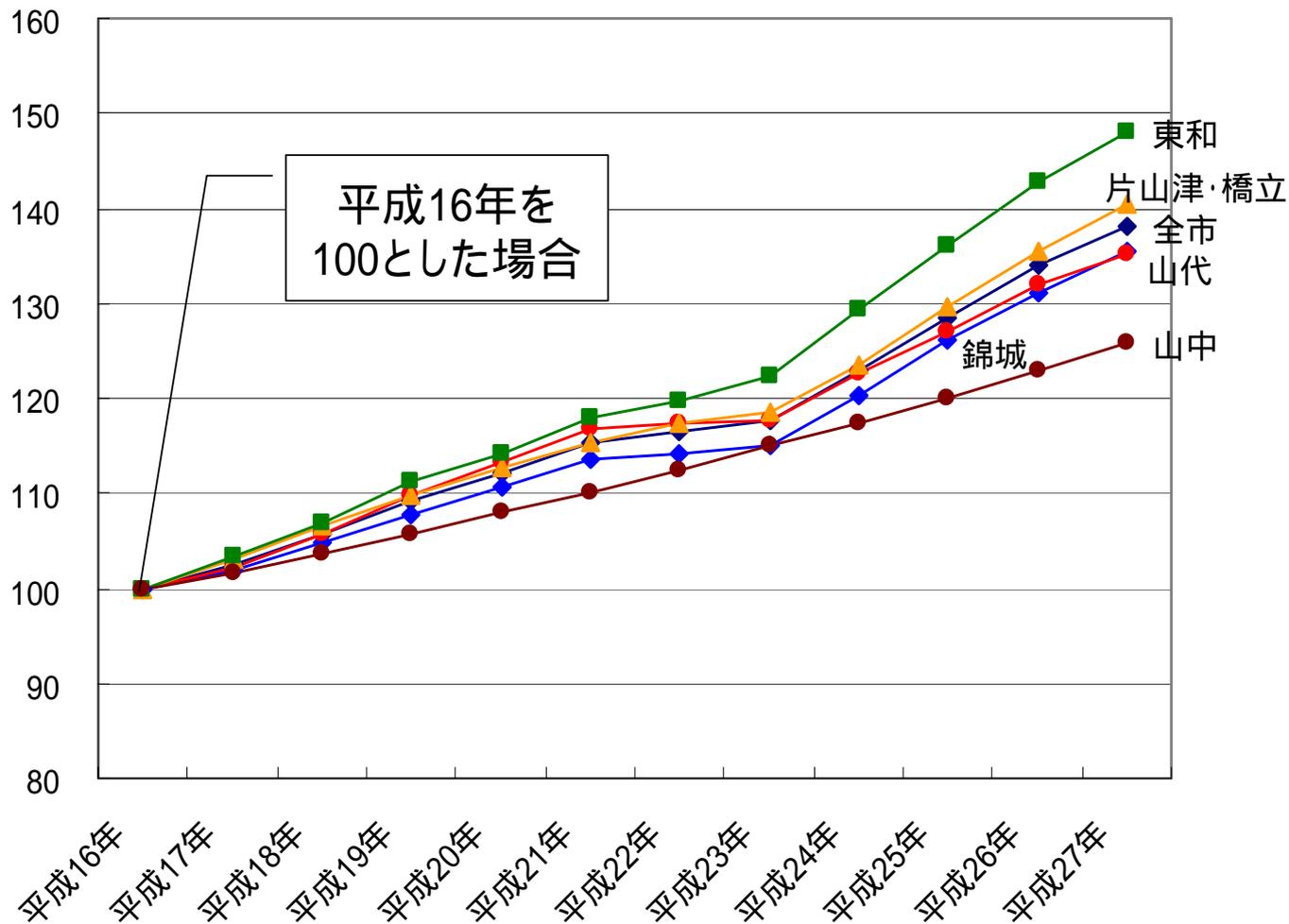
生活圏域別高齢化率の推移

今後も高齢化率は伸び続ける



生活圏域別高齢化率の推移(相対変化)

東和の伸びが顕著

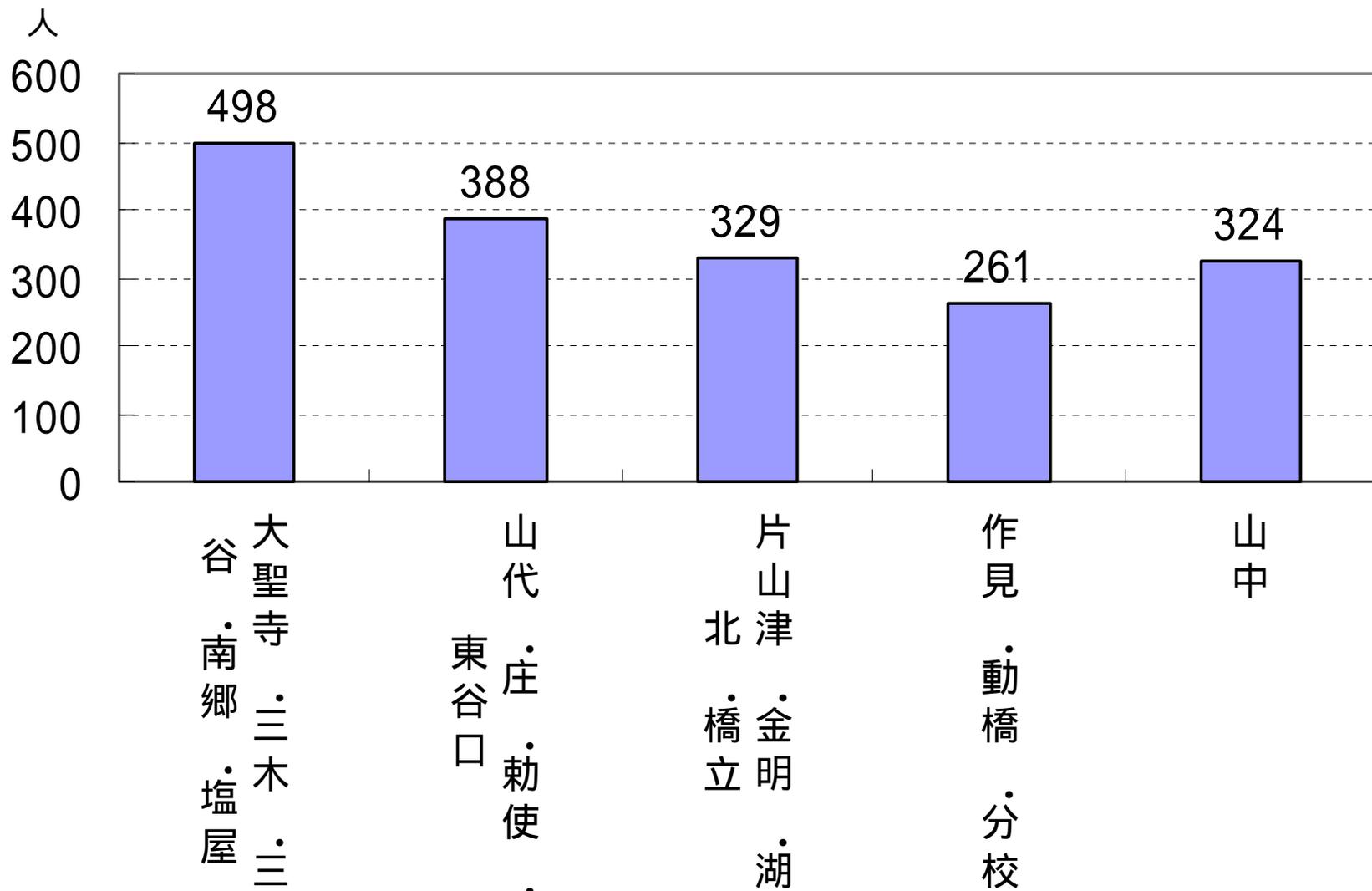


設定（案）における圏域ごとの 介護サービス利用状況

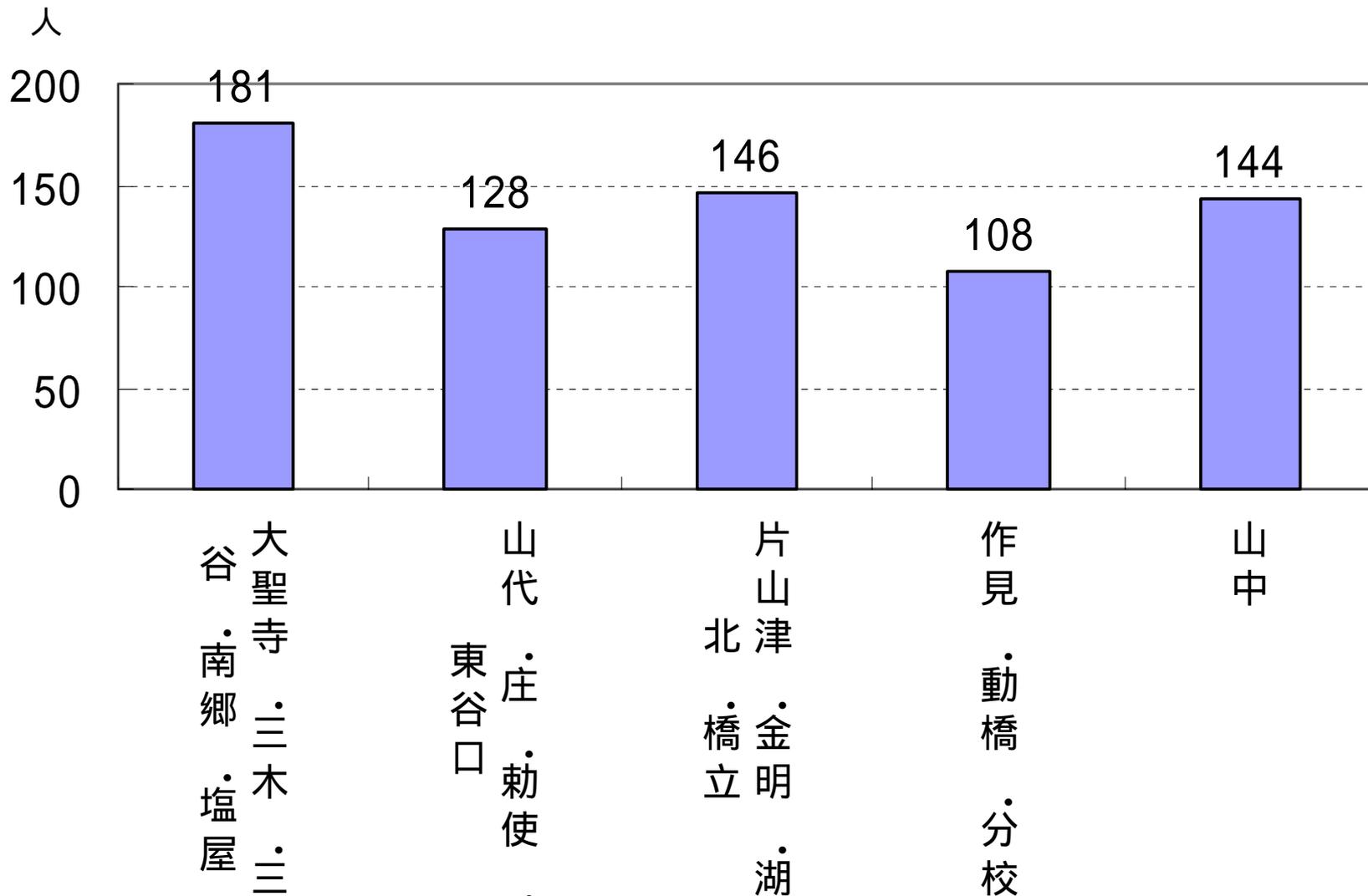
抽出前提条件

- 平成16年10月に介護サービスを利用した方
- 介護保険被保険者証に記載された住所地で抽出
- 施設サービスは住所を施設に異動することが多く、
一定の地域に集中してしまうために除く

要介護認定者数（圏域別）

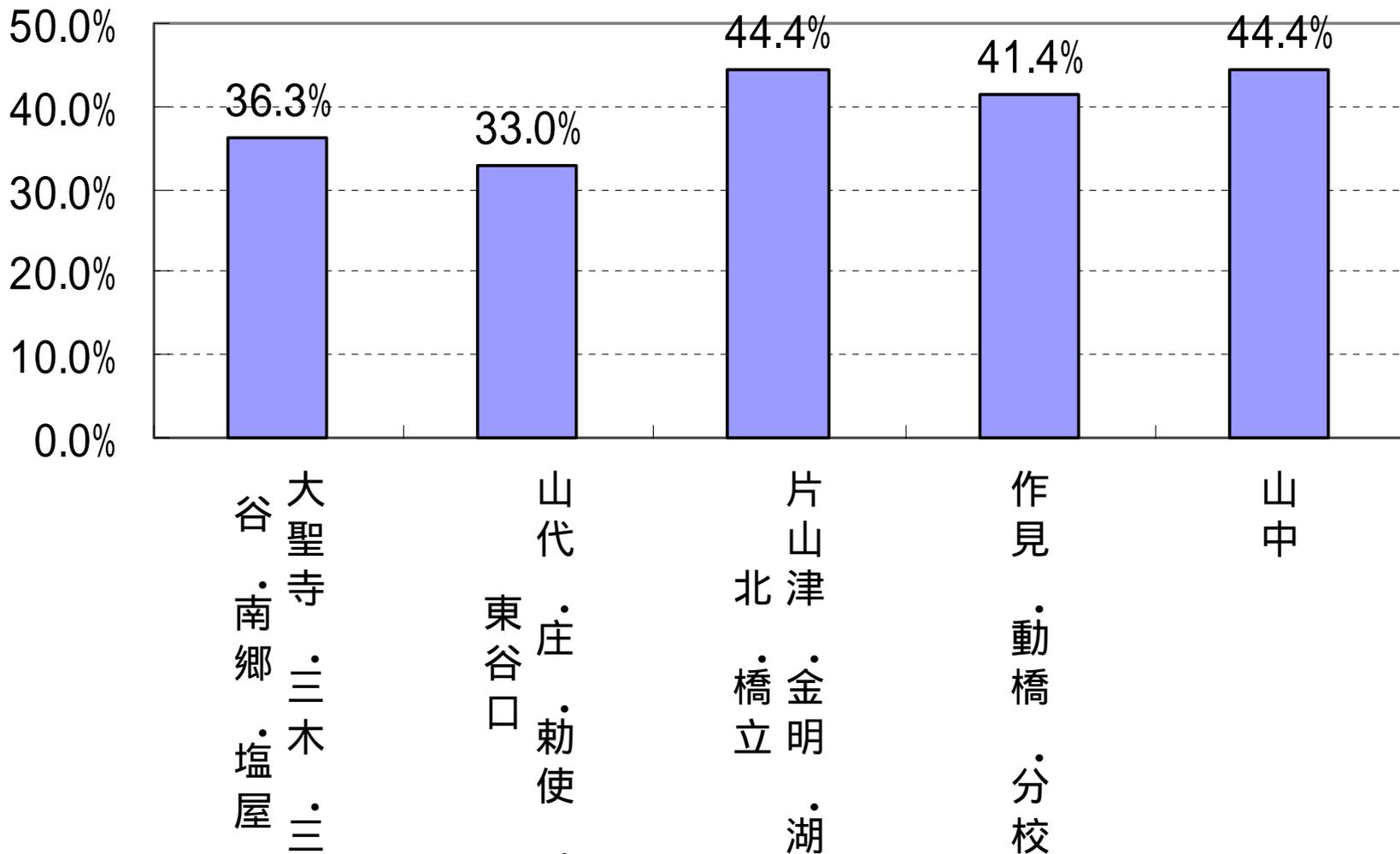


訪問系サービス（圏域別）

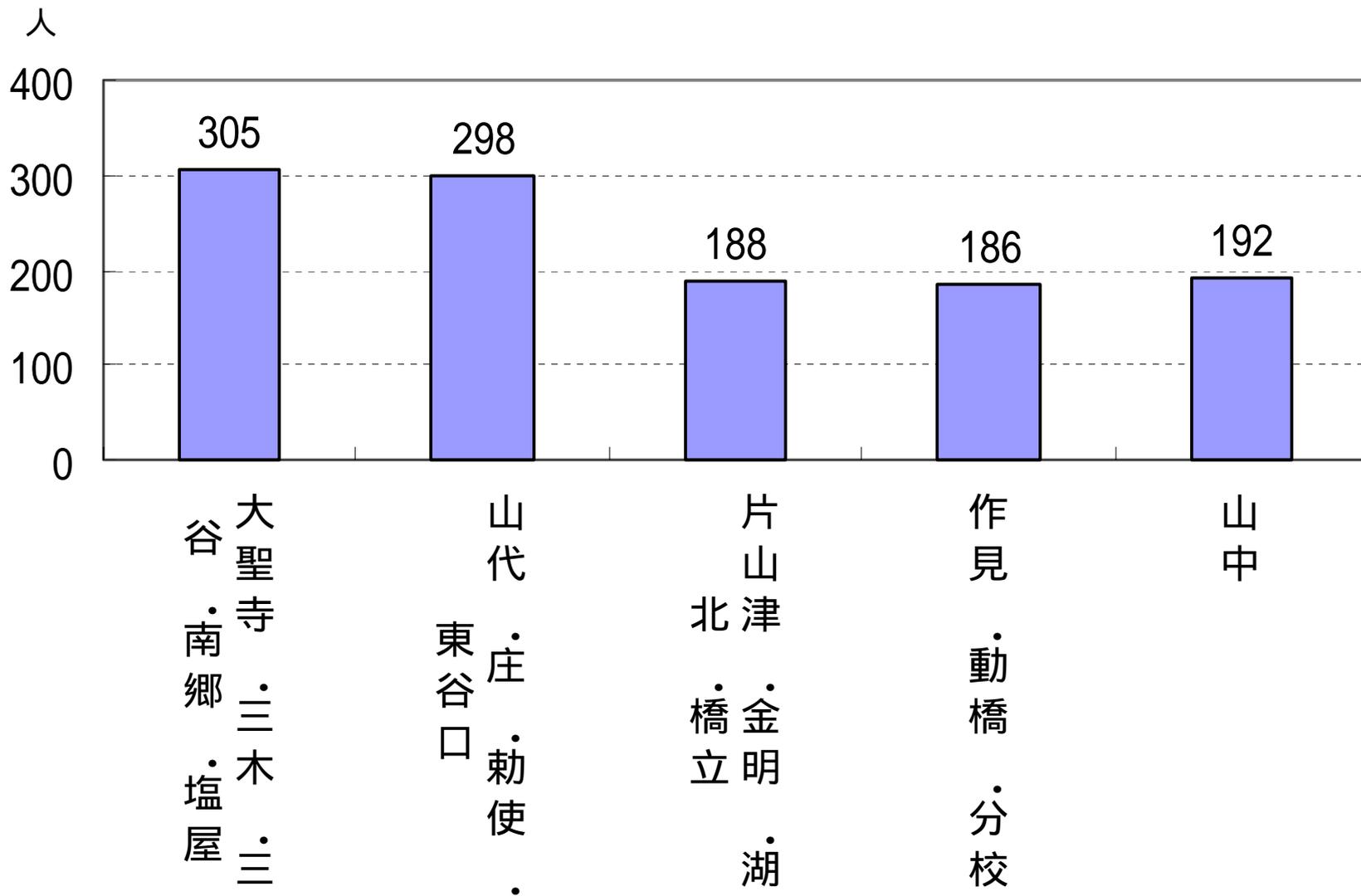


訪問系サービス利用率（圏域別）

片山津・作見・山中の利用率が高い。

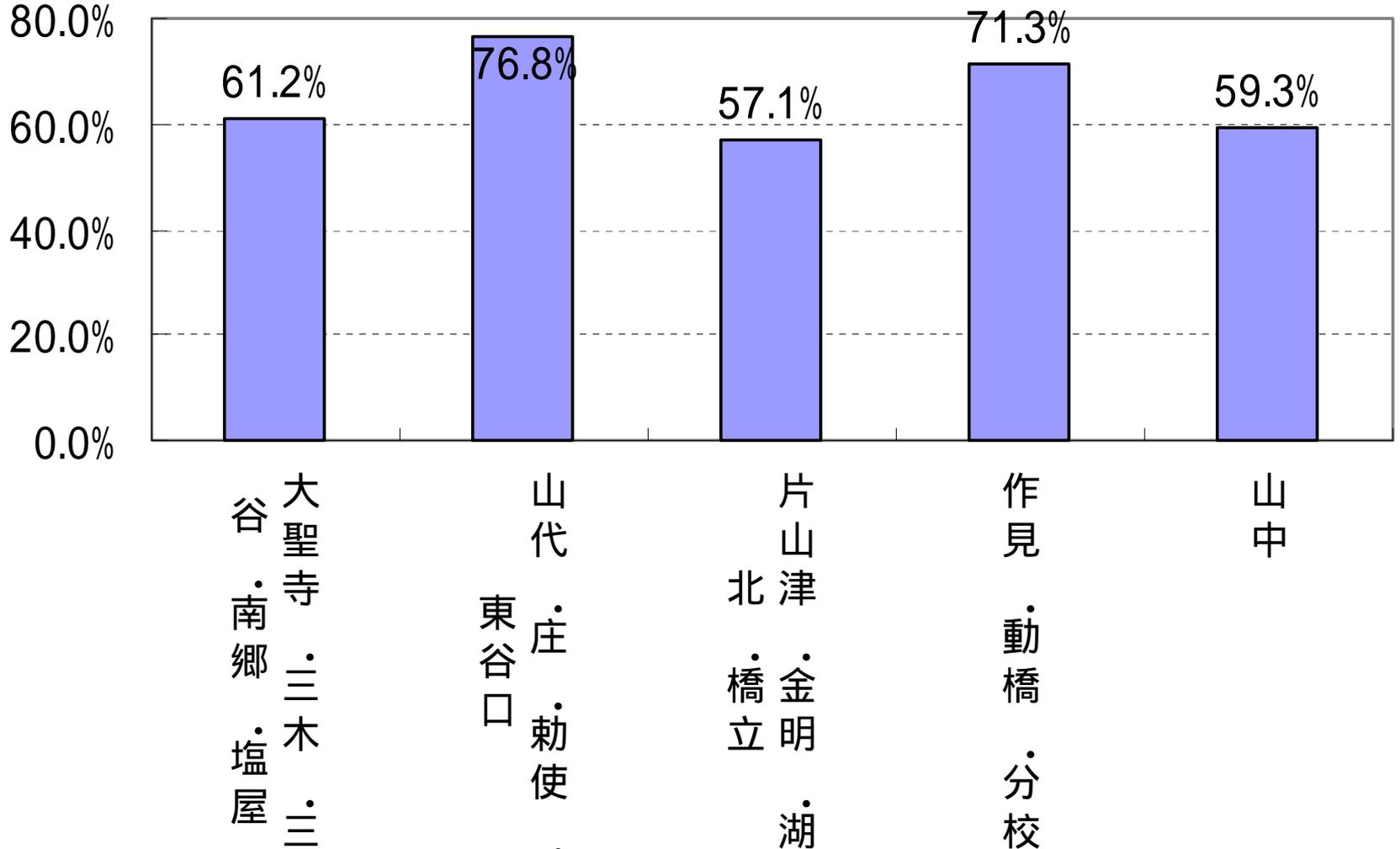


通所系サービス（圏域別）

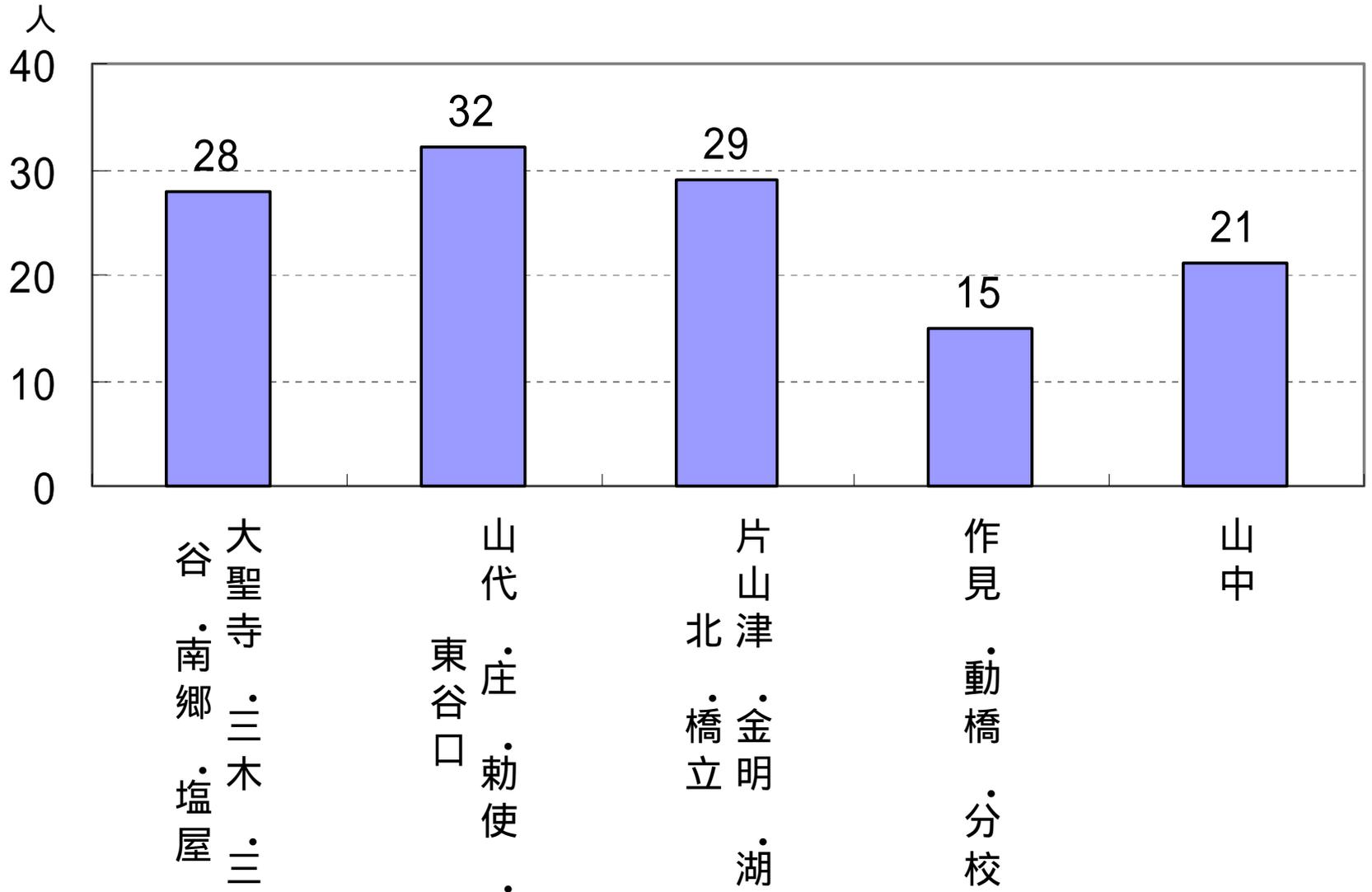


通所系サービス利用率（圏域別）

山代・作見の利用率が高い。

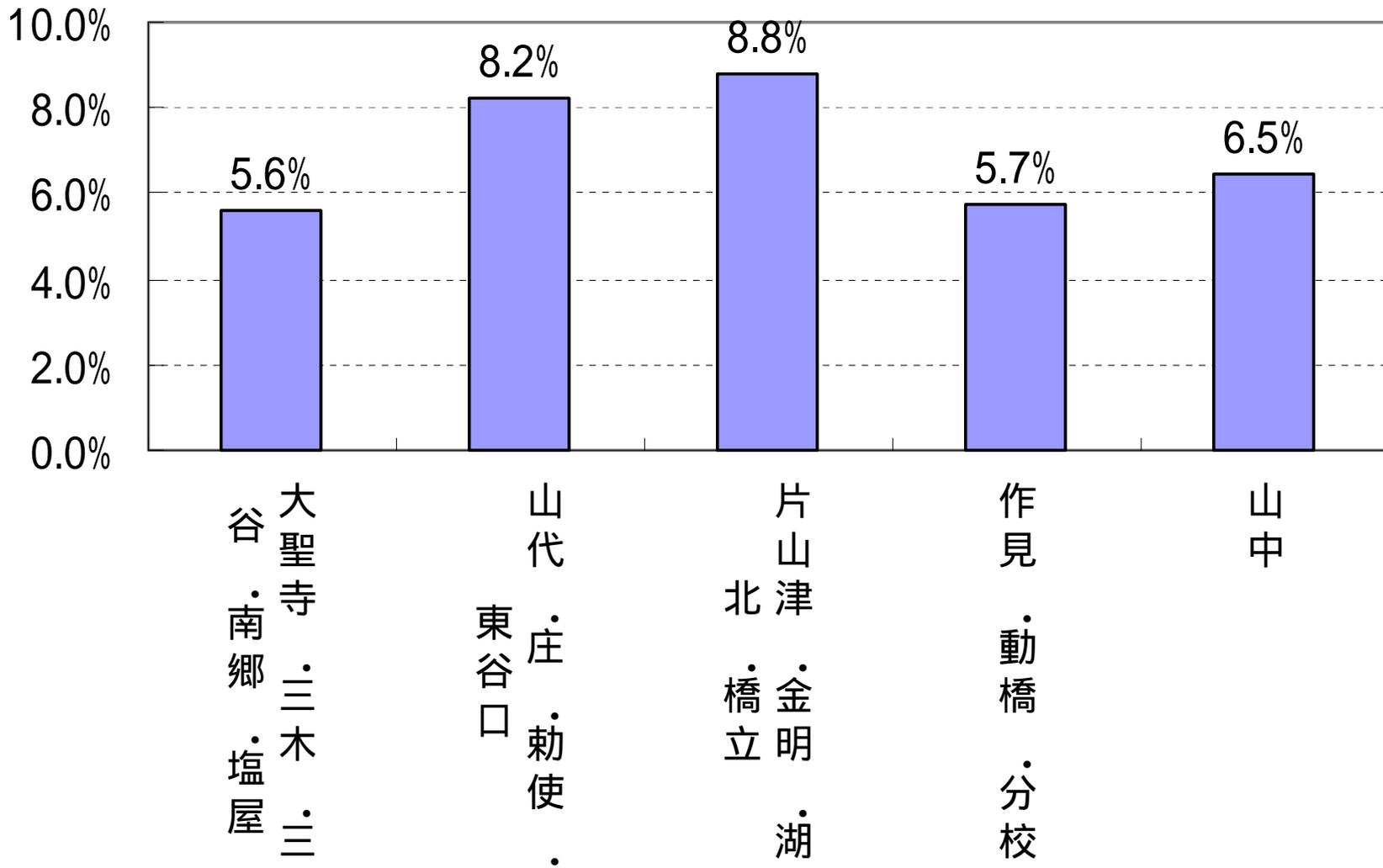


居住系サービス（圏域別）

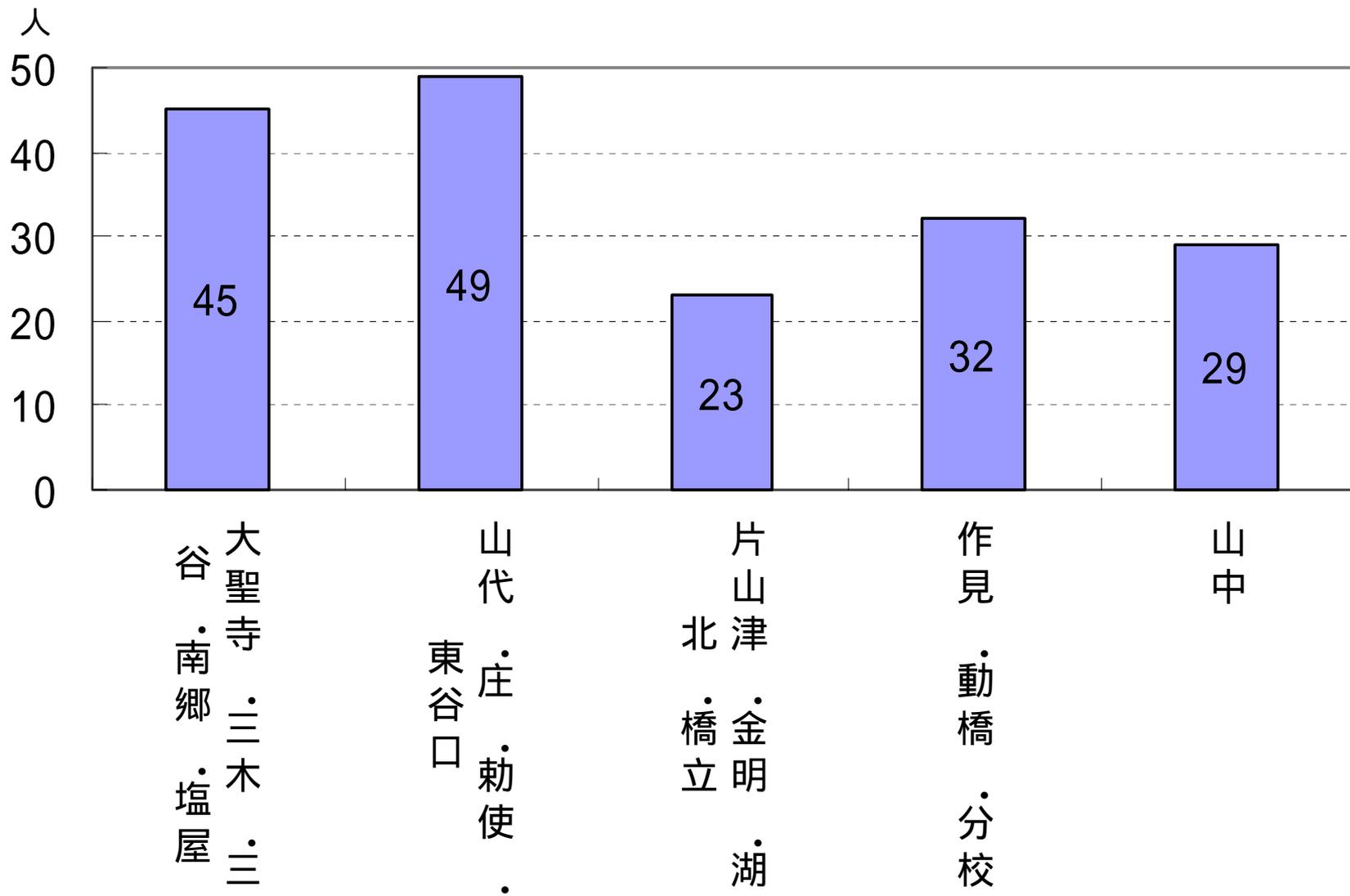


居住系サービス利用率（圏域別）

片山津・山代の利用率が高い。

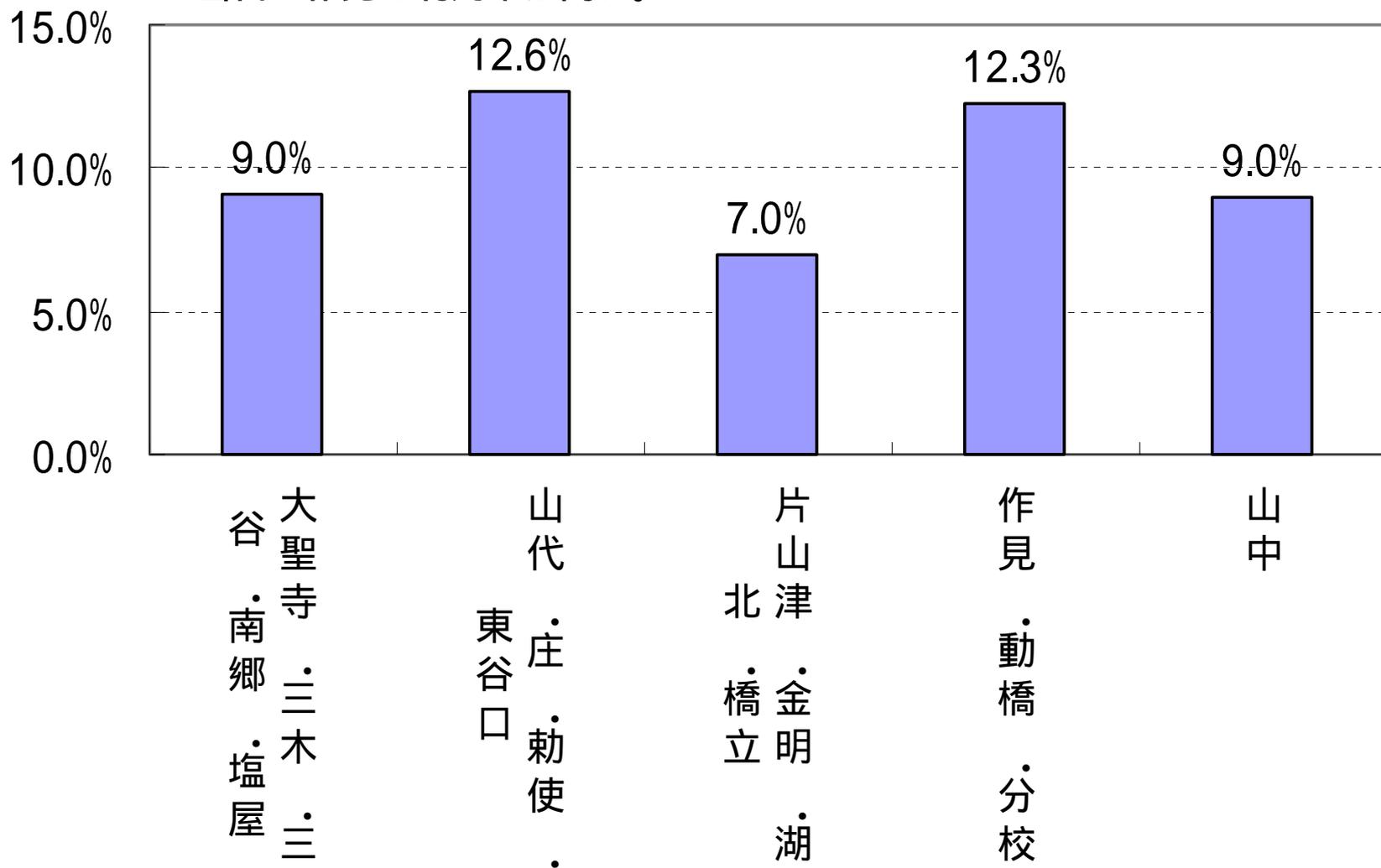


ショートステイ（圏域別）

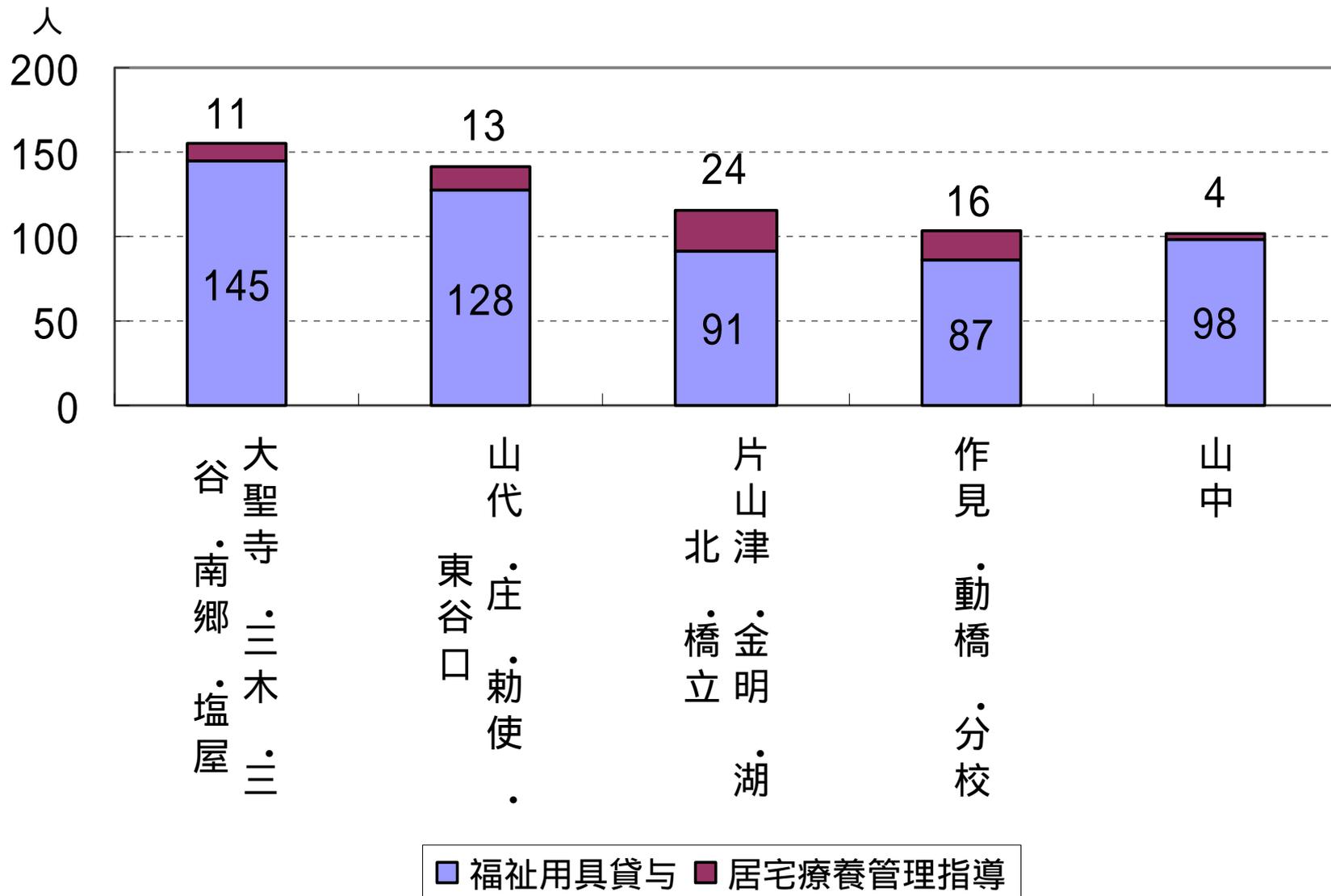


ショートステイ利用率（圏域別）

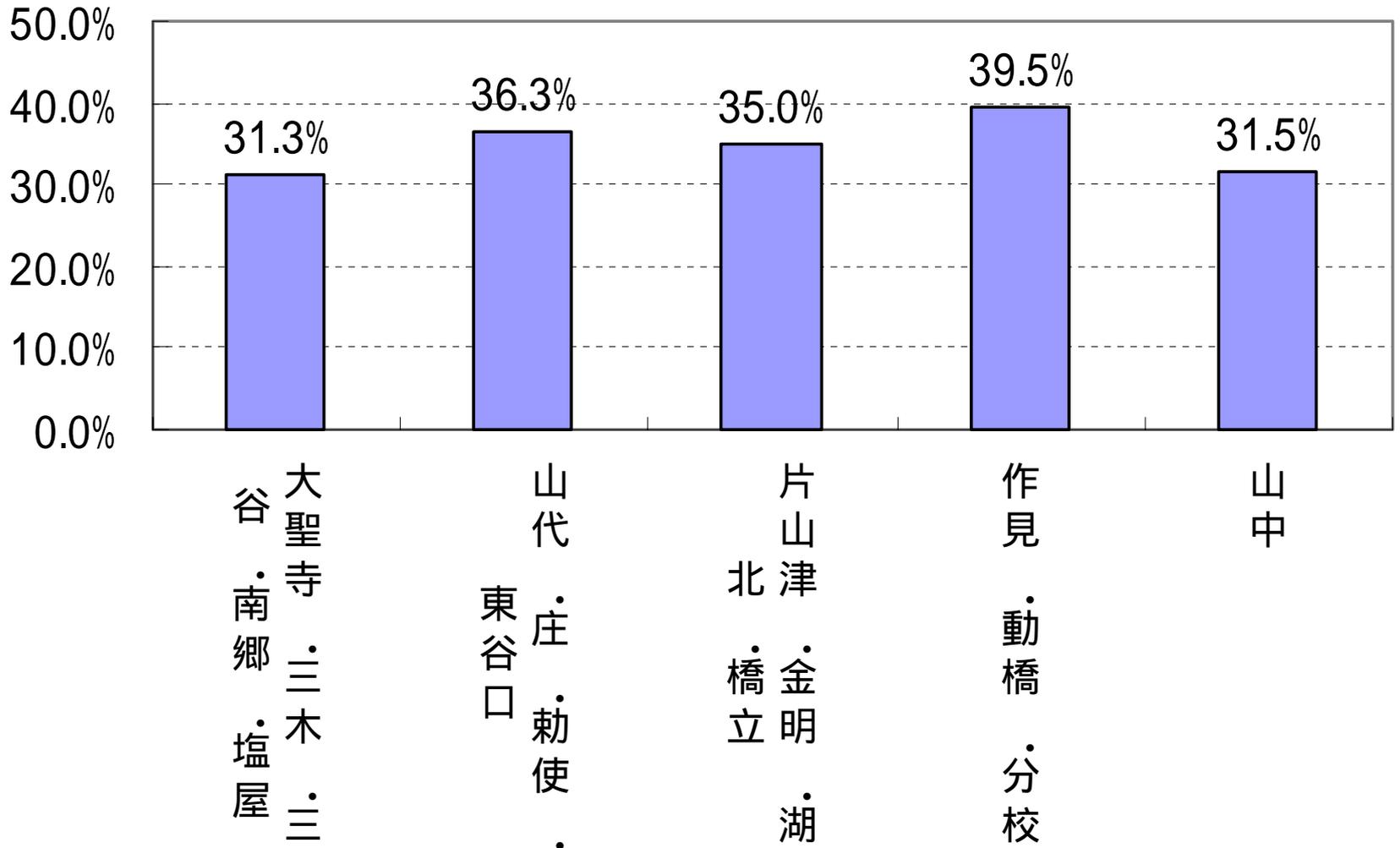
山代・作見の利用率が高い。



その他サービス（圏域別）



その他在宅サービス利用率（圏域別）



(参考) 介護保険給付額 (圏域別)

